



向日葵だより（事務所通信）300号発行にあたり

お陰様で、事務所通信「向日葵だより」も、今回で第300号を迎えることができました。これまで、皆様からも概ね好評価をいただいておりますこと、光栄に存じております。

さて、このような節目にあたり、事務所の体制も若返り刷新いたすこととし、3名の代表社員（公認会計士・税理士）の中から、植村義弘が新所長に、大倉然が副所長に就任いたしました。新所長の植村は、私共の事務所の開設とほぼ同時期に東京の大手監査法人からUターンし参画してくれました。副所長の大倉も、東京の大手監査法人勤務後、外資系財務コンサルティング会社を経て入所しました。両名とも、これまで責任ある立場で業務にあたってくれましたが、知見・経験に関しては申し分無く、人となりでも既に皆様方より絶大なる信託をいただけてきました。

私も新所長を盛り立てながら事務所通信のコラムを担当するなど、引き続き頑張っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

公認会計士 黒沼 憲



この度、事務所の代表をさせて頂くことになりました。皆様、あらためてどうぞよろしくお願い申し上げます。

私どもは、事務所設立以来、お客様の事業活動を税務と会計の面から支援し、社長様が目的とする事業の成功と発展継続、ひいては社長様はじめ企業の皆様の幸福に貢献することが願いです。そのため、「快いサービスと気付きでお客様に寄り添う」ことを弊事務所及び私ども全員の使命としております。これを果たすため、プロフェッショナルとして研鑽し、関わらせていただく個人としての成長のために努力してまいります。

とはいえ私に至らない点も多々あるかと思っておりますので、叱咤激励を賜れば幸いです。そして共に成長できればまたこの上ない喜びになると願っております。

公認会計士 植村 義弘

近年は社会情勢が大きく変化し、各種状況の変化のスピードが年々早くなってきており、3年先の状況を見通すことも難しくなっています。併せて科学・技術進歩もすさまじく、それに応じて法整備も含め、社会全般の技術水準も向上していくものと思えます。

このように変化が大きく・速くなっている状況の中で、今後も会計・税務の分野で適切な判断が行えるように、常に情報収集・適切な理解をして対応していきたいと思えます。そのために、過去に囚われず常に現時点の状況を把握し、将来の変化に対応できる知識・技術を習得し続けていけるようにしてまいります。

公認会計士 大倉 然

「向日葵だより」は今月号で300号を迎えることが出来ました。「事務所通信」としてスタートし、お客様に事務所のことをもっと知ってもらいたい！との思いから、旬な税務情報や所長のコラム記事も加えて発信してまいりました。

'97.10（創刊号）A4サイズ1枚にワープロ打ちと手書きでFAX送信/'04.07（第82号）

「せっかくきれいな原稿をFAXではもったいない」との光栄なお言葉をいただき、カラー原稿をメール便でのお届けに変更/'06.01 おかげ様で100号発信/'14.05 第200号発信/そして'22.09 第300号達成

これからも、毎月心待していただける「向日葵だより」を目指し、継続してまいります。

税理士 黒沼 範子